

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	バイイング理論				
担当教員	池田 沙織	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	買い付けや仕入れにかかわる知識を幅広く学び、そこに付随する業務内容の講義、実践を行う。 知識のインプットからアウトプットまでを行える授業内容とする。				
学習目標 (到達目標)	買い付けから展示会、ポップアップショップの運営、販売実績収支のつけ方までを幅広く学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショップ構想		運営の仕組み		
2	コンセプトMD		コンセプト・MDの捉え方		
3	コンセプトMD ベルソナ		ベルソナについて		
4	コンセプトMD イメージマップ		イメージマップ作成		
5	コンセプトMD ポジショニングマップ		ポジショニングマップ作成		
6	コンセプトからMDへ		コンセプトをまとめMDへの落とし込み		
7	シーズンテーマ設定		シーズンテーマ作成		
8	MD計画		MD計画について		
9	シーズンマップ制作		シーズンマップ作成		
10	MDマップ制作		MD計画についてマップ作成		
11	シーズンマップ、MDマップ共有		シーズンマップ、MDマップ共有		
12	競合店リサーチ		競合店リサーチ実施		
13	結果レポート 制作		結果レポート作成		
14	店頭企画 制作		店頭企画案作成		
15	結果レポート、店頭企画共有		結果レポート、店頭企画案共有		
16	POPUPショップコンセプト設定①		ショップコンセプト設定		
17	POPUPショップコンセプト設定②		コンセプトマップ 制作		
18	POPUPショップコンセプト設定③		ショップイメージマップ 制作		
19	POPUPショップコンセプト設定④		コンセプトマップ、イメージマップ共有		
20	POPUPショップコンセプト設定⑤		オーダー、サンプル検品		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出 100% 点数基準 課題：授業意欲 = 80 : 20 企画書、プレゼンの内容で点数の増減 (±5点) あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			ノートを用意。		
実務経験教員の経歴	販売代行店にて仕入に関わることから展示会やショップ運営、後進育成まで幅広く携わる				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	バイイング理論				
担当教員	池田 沙織	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	買い付けや仕入れにかかわる知識を幅広く学び、そこに付随する業務内容の講義、実践を行う。 知識のインプットからアウトプットまでを行える授業内容とする。				
学習目標 (到達目標)	買い付けから展示会、ポップアップショップの運営、販売実績収支のつけ方までを幅広く学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	POPUPショップコンセプト設定⑥		コンセプト決定、役割分担		
2	POPUPショップコンセプト設定⑦		予算設定、備品制作、イメージ販促物		
3	POPUPショップコンセプト設定⑧		アイテムバランス、展開図、LOOK制作		
4	展示会シュミレーション		展示会シュミレーション案制作		
5	展示会シュミレーション		サンプルオーダー		
6	展示会シュミレーション		検品、陳列		
7	展示会シュミレーション		SNS戦略 制作		
8	POPUPショップ実習		実店舗にて実習		
9	POPUPショップ実習		実店舗にて実習		
10	POPUPショップ実習		実店舗にて実習		
11	POPUPショップ実習		ショップ収支について		
12	POPUPショップ実習		販売実績 検証		
13	POPUPショップ実習		消化率、利益率について		
14	POPUPショップ実習		実店舗にて実習		
15	POPUPショップ実習		実店舗にて実習		
16	POPUPショップ実習		実店舗にて実習		
17	POPUPショップ実習		実店舗にて実習		
18	POPUPショップ実習		振り返り報告書作成		
19	POPUPショップ実習		報告書共有		
20	POPUPショップ実習		まとめ 実績、1年間の総評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			ノートを用意。		
実務経験教員の経歴	販売代行店にて仕入に関わることから展示会やショップ運営、後進育成まで幅広く携わる				

科目名	WEBプロモーション				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科 (ファッション販売・WEBコース)、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	WEB広告やSNSの利用方法と考え方・伸ばし方を事例を踏まえ学ぶ。 実際にSNS情報の発信を行い、計画・発信・検証をしながら効果的なSNSの発信方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	WEB広告やSNSの利用方法と考え方・伸ばし方のスキルを習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナル資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	WEBプロモーションとは？導入・ターゲット設定		伸びるアカウントにするためのターゲット設定		
2	SNSに必要な考え方		SNSに必要な考え方		
3	SNSアカウント設定資料作成		投稿内容について		
4	SNSアカウント設定資料作成		投稿内容について		
5	アカウントの制作・投稿開始		撮影・投稿		
6	アカウントの制作・投稿開始		撮影・投稿		
7	ランチェスター戦略		ランチェスター戦略の基本概念とその応用について講義		
8	ランチェスター戦略		ランチェスター戦略の基本概念とその応用について講義		
9	SEOとハッシュタグについて		SEOについての講義と実習		
10	SEOとハッシュタグについて		SEOについての講義と実習		
11	画像編集について		Photoshopを使用した画像編集		
12	画像編集について		Photoshopを使用した画像編集		
13	リールの作成		リールの撮影編集		
14	リールの作成		リールの撮影編集		
15	効果検証		効果検証		
16	写真の構図について		写真の構図についての講義		
17	写真の構図について		写真の構図についての講義		
18	事例に学ぶ・インフルエンサーの実態と収益		インフルエンサーの実態について		
19	効果検証		投稿・撮影・効果検証		
20	効果検証		投稿・撮影・効果検証		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	WEBプロモーション				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科 (ファッション販売・WEBコース)、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	WEB広告やSNSの利用方法と考え方・伸ばし方を事例を踏まえ学ぶ。 実際にSNS情報の発信を行い、計画・発信・検証をしながら効果的なSNSの発信方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	WEB広告やSNSの利用方法と考え方・伸ばし方のスキルを習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナル資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インサイトの確認とアカウントの見直し		インサイトを分析し、フォロワーを増やすための講義		
2	広告の運用		WEB広告についての講義		
3	広告の運用		WEB広告についての講義		
4	模擬広告作成		模擬広告の作成		
5	模擬広告作成		模擬広告の作成		
6	リールの撮影・編集2		効果的なリールの撮影と発信方法についての実習		
7	リールの撮影・編集2		効果的なリールの撮影と発信方法についての実習		
8	リールの撮影・編集2		効果的なリールの撮影と発信方法についての実習		
9	SNSに必要な考え方2		発展的な投稿方法と考え方の実習		
10	SNSに必要な考え方2		発展的な投稿方法と考え方の実習		
11	SNSに必要な考え方2		発展的な投稿方法と考え方の実習		
12	効果検証		効果検証		
13	SEOとハッシュタグについて2		検索を意識した投稿方法とその実習		
14	SEOとハッシュタグについて2		検索を意識した投稿方法とその実習		
15	効果検証		効果検証		
16	画像編集について2		効果的な画像の編集についての実習		
17	画像編集について2		効果的な画像の編集についての実習		
18	効果検証		効果検証		
19	効果検証		効果検証		
20	一年の効果検証・まとめ・課題提出		最終の課題提出と一年間の振り返り・分析		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	大澤 清孝	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①		教科書 p8~p9 過去問題演習		
2	ファッション販売知識②		教科書 p10~p12 過去問題演習		
3	ファッション販売知識③		教科書 p13~p14 過去問題演習		
4	ファッション販売知識④		教科書 p15~p19 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p20~p24 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p25~p30 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p31~p35 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④、⑤		教科書 p36~p47 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑥		教科書 p48~p51 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑦、⑧		教科書 p52~p61 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p152~p155 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p156~p160 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p161~p166 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p167~p173 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	A科目過去問題①		第43回 過去問題A科目試験形式及び解答		
2	A科目過去問題①		第43回 過去問題A科目 解説・振り返り		
3	A科目過去問題②		第42回 過去問題A科目試験形式及び解答		
4	A科目過去問題②		第42回 過去問題A科目 解説・振り返り		
5	A科目過去問題③		第41回 過去問題A科目試験形式及び解答		
6	A科目過去問題③		第41回 過去問題A科目 解説・振り返り		
7	A科目過去問題④		第40回 過去問題A科目試験形式及び解答		
8	A科目過去問題④		第40回 過去問題A科目 解説・振り返り		
9	A科目過去問題⑤		第39回 過去問題A科目試験形式及び解答		
10	A科目過去問題⑤		第39回 過去問題A科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第38回 過去問題A科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第38回 過去問題A科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p61～p93 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p94～p107 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p108～p111 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p112～p117 過去問題演習		
5	売り場づくり①		教科書 p118～p121 過去問題演習		
6	売り場づくり②		教科書 p122～p127 過去問題演習		
7	売り場づくり③		教科書 p128～p137 過去問題演習		
8	売り場づくり④、⑤、⑥		教科書 p138～p143 過去問題演習		
9	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p144～p147 過去問題演習		
10	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p148～p151 過去問題演習		
11	店舗運営管理①		教科書 p174～p182 過去問題演習		
12	店舗運営管理②		教科書 p183～p186 過去問題演習		
13	店舗運営管理③		教科書 p187～p189 過去問題演習		
14	店舗運営管理④		教科書 p190～p193 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	大澤 清孝	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目試験形式及び解答		
2	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目 解説・振り返り		
3	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目試験形式及び解答		
4	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目 解説・振り返り		
5	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目試験形式及び解答		
6	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目 解説・振り返り		
7	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目試験形式及び解答		
8	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目 解説・振り返り		
9	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目試験形式及び解答		
10	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名		VMD II						
担当教員		久島 実里		実務授業の有無		○		
対象学科		ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年		2	開講時期		前期
必修・選択		必修	単位数		3	時間数		60時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用			遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方		1年次に学習した基礎知識をもとにテーマ別訴求、イベント別訴求等を企画から作成し、1F SHOP、3F ディスプレイルームを作成。商品の魅力を演出できるように実践をメインに取り組む。 またセリングポイントを訴求した効果的なディスプレイを作成し、店舗運営と並行して授業を行う。						
学習目標 (到達目標)		各アイテムに適した陳列方法をマネキン、トルソーを使用して1FのSHOPを使い魅力的に見せる。						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		なし						
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考			
1	導入、1年次振り返り				授業ルールについて、科目のゴール説明。 振り返りシート配布、記入。			
2	人の視覚特性について 講義				視覚特性に基づいたVMDプラン、VMDルール講義			
3	導線、レイアウトについて講義				視覚特性を活かした導線、レイアウト講義、実践			
4	SKU,FKU講義、主役と脇役				SKU,FKUについてのプリント配布。 VMDにおける主役と脇役についての講義。			
5	構成実践 撮影、ワークシート作成				身近な物を使って構成の実践。テーマ、ポイントなどは各自自由に決める。今まで学んだことを活かして実践			
6	構成実践 発表				構成の発表			
7	アイテムケア (シューズ、革物)				各自でアイテムを用意してもらい、ケア実施。			
8	ファッションショーに向けたテーマ決め、マップ作成				テーマ決め、マップ作成			
9	ファッションショーテーマ プレゼン、内容策定				テーマのプレゼン、内容策定。			
10	ファッションショー展示				ディスプレイルームに展示			
11	ネクタイ結び方の復習、テクニック講義 実践				結び方復習、テクニック講義、実践			
12	万代リサーチ				万代ヘリサーチ実施			
13	リサーチレポート作成				レポート提出 (売場図、ポイント記載)			
14	FWに向けた1F SHOP VMD変更				1F SHOPのVMD変更を全員で実施。			
15	ネクタイ結び方の復習、テクニック講義 実践				結び方復習、テクニック講義、実践			
16	ネクタイ結び方の復習、テクニック講義 実践				結び方テクニック、実践			
17	古町リサーチ				リサーチ実施、売り場、オススメアイテムのリサーチ。			
18	リサーチレポート作成				リサーチレポート提出。(売場図、ポイント記載)			
19	まとめ、SHOP内容引継ぎ				VMDIIまとめワークシート配布。SHOP内容を1年生に引継ぎ。			
20	まとめ、SHOP内容引継ぎ				SHOP内容を1年生に引継ぎ。重点ポイントなど。			
評価方法・成績評価基準					履修上の注意			
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)					A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。			
実務経験教員の経歴		家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験						

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名		VMD II						
担当教員		久島 実里		実務授業の有無		○		
対象学科		ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年		2	開講時期		後期
必修・選択		必修	単位数		3	時間数		60時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業			
授業概要、目的、 授業の進め方		プランニングからディスプレイ企画、アイテム選別まで各個人で実施。 2年間で学んだコーディネート、VMD、店舗運営などの知識を活かし、心に、視覚に訴える課題を制作。 卒業課題となり最終ショー形式にて発表。						
学習目標 (到達目標)		企画書の作成、プレゼン実施、VMD企画、演出のすべてを実践し理解をする。						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		なし						
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考			
1	課題趣旨説明				制作の内容、趣旨説明			
2	企画書立案				企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、 演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。			
3	企画書作成1				企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て			
4	企画書作成2				企画書作成 演出、音楽の企画立案			
5	企画書中間チェック				企画書の中間チェック実施。			
6	企画書プレゼン				企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝 える）			
7	企画採用者決定				採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画 者に仕切らせ制作開始。			
8	採用企画のコーディネート策定1				コーディネート案作成 PCにて画像収集			
9	採用企画のコーディネート策定2				コーディネート案作成 PCにて画像収集			
10	採用企画のコーディネート策定3				コーディネート案完成 モデル案策定			
11	必要なアイテム候補出し				足りないアイテムの候補出し			
12	必要なアイテムなど買い出し				足りないアイテムの候補出し、買い出し実施			
13	コーディネートチェック				コーディネートチェック実施			
14	フィッティング実施				フィッティング実施			
15	演出関連作成				演出関連（音楽、映像など）作成			
16	演出関連リハ				演出関連リハーサル実施。			
17	リハーサル、改善ミーティング1				リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。			
18	リハーサル、改善ミーティング2				リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。			
19	リハーサル、改善ミーティング3				リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。			
20	リハーサル、改善ミーティング4				リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。			
評価方法・成績評価基準					履修上の注意			
(1) 出席率が80%以上である事。 (2) 最終提出期限が守られている事。 (3) 課題内容の条件を満たしている事。 (4) 総合評価60点以上であること ①企画書40% ②コーディネート30%で評価 ③VMD20%+授業態度10%					提出物 (1) プレゼンテーション企画書 (2) 作品 コーディネート作品1人1コーディネート 各科目ごとに複数の教務にて評価を行う。			
実務経験教員の経歴		家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験						

科目名	WEBショップⅡ				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科、 ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ECサイトBASEにて、生徒独自のネットショップの作成し運営を行う 一般消費者に対して商品の販売・顧客対応・プロモーションを行う HPの作成方法、WEBの基礎知識、SEO、商品登録、顧客対応、インサイトの分析を学ぶことでwebshop運 営の技術を習得する				
学習目標 (到達目標)	webshop作成方法と運営の技術を習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナル資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ECの現状と授業での運営方法について		実際のECサイトからわかるECについての講義		
2	商品の仕入れと販売について		ドロップシッピングについての講義		
3	商品の仕入れと販売について		ドロップシッピングについての講義		
4	ランチェスター戦略		ランチェスター戦略の基本概念とその応用について		
5	ショップコンセプト決め		ショップコンセプトを決める実習		
6	ショップコンセプト決め		ショップコンセプトを決める実習		
7	ログイン・ショップ制作開始		アカウント作成とショップ作成の実習		
8	初期設定と特定商取引法に関する記載の入力		特定商取引法に関する記載についての講義と実習		
9	初期設定と特定商取引法に関する記載の入力		特定商取引法に関する記載についての講義と実習		
10	商品デザイン		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
11	商品デザイン		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
12	商品登録		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
13	商品登録		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
14	SEOとその役割		SEOについての講義と実習		
15	SEOとその役割		SEOについての講義と実習		
16	TOPページデザイン		TOPページの作成方法とCVRが上がるページについての講 義		
17	TOPページデザイン		TOPページの作成方法とCVRが上がるページについての講 義		
18	バナー作成		ショップコンセプト・TOPページ・商品に基づきバナーを 作成する実習		
19	バナー作成		ショップコンセプト・TOPページ・商品に基づきバナーを 作成する実習		
20	SHOPオープン		SHOPオープン時の注意点と最終確認		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場 合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでボタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	WEBショップⅡ				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科、 ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	ECサイトBASEにて、生徒独自のネットショップの作成し運営を行う 一般消費者に対して商品の販売・顧客対応・プロモーションを行う HPの作成方法、WEBの基礎知識、SEO、商品登録、顧客対応、インサイトの分析を学ぶことでwebshop運 営の技術を習得する				
学習目標 (到達目標)	webshop作成方法と運営の技術を習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナル資料				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	インサイト確認・分析	インサイトを分析し、売り上げを上げるための講義			
2	インサイト確認・分析	インサイトを分析し、売り上げを上げるための講義			
3	アカウントの見直し	分析結果を踏まえ、ショップコンセプトを見直す実習			
4	商品デザイン、商品登録	秋冬用の商品を作成する実習			
5	商品デザイン、商品登録	秋冬用の商品を作成する実習			
6	商品デザイン、商品登録	秋冬用の商品を作成する実習			
7	SEO対策と関連ブログ記事作成	集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習			
8	SEO対策と関連ブログ記事作成	集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習			
9	プロモーション用の企画作成	集客をするための企画作成			
10	プロモーション用の企画作成	集客をするための企画作成			
11	プロモーション用の企画作成	集客をするための企画作成			
12	冬用トップページ修正	秋冬用のTOPページに変更する実習			
13	冬用トップページ修正	秋冬用のTOPページに変更する実習			
14	冬用トップページ修正	秋冬用のTOPページに変更する実習			
15	バナー作成	秋冬用のTOPページに合わせたバナーを作成する実習			
16	バナー作成	秋冬用のTOPページに合わせたバナーを作成する実習			
17	SEO対策	集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習			
18	SEO対策	集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習			
19	GOOGLEサーチコンソールについて	GOOGLEサーチコンソールについて			
20	最終課題提出とまとめ	最終課題提出とまとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。			
実務経験教員の経歴	県内ニッターでバタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	イラストレーターフォトショップB				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.フォトショップの基本操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの基本的な操作方法を理解しツールを使えるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インストール		インストール作業		
2	インストール		インストール作業		
3	フォトショップとは		導入：P2～8		
4	基本操作		起動とファイル：P10～21		
5	基本操作		画面表示と色の選択：P22～31		
6	選択範囲の概念		選択ツール：P32～40		
7	選択範囲の概念		その他の選択：P41～45		
8	画像の移動と変形		解像度とサイズ：P46～52		
9	画像の移動と変形		コピー&ペースト：P53～59		
10	カラーの概念		カラーモード：P60～64		
11	カラーの概念		色調補正：P65～71		
12	ペイントツール		ペイント系のツール：P72～96		
13	ペイントツール		ペイント演習：P97		
14	レイヤー操作		レイヤー機能：P98～100		
15	レイヤー操作		レイヤー機能：P101～103		
16	レイヤー操作		レイヤー機能：P104～107		
17	レイヤー操作		レイヤー機能：P108～111		
18	テキストツール		テキストの入力と編集：P128～130		
19	テキストツール		テキストの入力と編集：P131～134		
20	テキストツール		演習P135		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペイントの演習50%・テキストの演習50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	イラストレーターフォトショップB				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.フォトショップの応用操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの応用操作方法を理解しコラージュマップの作成や写真の合成ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フィルターについて		フィルターの概要：P136～151		
2	画像編集・フォトレタッチ		色調補正：P164～180		
3	画像編集・フォトレタッチ		写真補正演習：P181		
4	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P182～187		
5	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P188～193		
6	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P194～198		
7	ロゴデザイン		ロゴデザイン演習：P199		
8	カード、ステーションナリデザイン		ポップ制作：P200～207		
9	カード、ステーションナリデザイン		ポップ制作：P208～215		
10	フォトコラージュ		写真の合成①：P216～221		
11	フォトコラージュ		写真の合成②：P222～227		
12	フォトコラージュ		写真の合成③：P228～233		
13	オリジナルポートフォリオ制作		課題画像加工		
14	オリジナルポートフォリオ制作		ページ構成・レイアウト		
15	オリジナルポートフォリオ制作		コラージュ・合成作成		
16	オリジナルポートフォリオ制作		テキスト・ロゴマーク配置		
17	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
18	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
19	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・提出		
20	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
オリジナルポートフォリオ100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ロールプレイングII				
担当教員	藤王 祐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に学んだ基本的な接客技術に加え、コーディネート提案からクロージングまでの手法や応用など様々なシチュエーションに対応できる能力を身に付けます。				
学習目標 (到達目標)	しっかりと接客ができる。コーディネートの提案ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入		授業目標と概要、評価についての説明		
2	FAの本質と次のステージ。アンケート。		FAの本質とは？講義 授業アンケートについての回答。		
3	1年次の復習		接客の基礎対応を復習。		
4	レジ対応1		レジ対応について復習を兼ねて講義で学ぶ。		
5	レジ対応2		レジ対応のロールプレイングを実践。		
6	お見送り		お見送りについて講義、ロールプレイングで実践。		
7	CSアクションプラン1		CSについて講義で学ぶ。		
8	CSアクションプラン2		企業のCSに関する取り組みを調べ、プレゼン資料作り。		
9	CSアクションプラン3		架空の店舗設定し、オリジナルCSアクションプランを企画し、プレゼンテーションする。		
10	イレギュラー対応1		イレギュラーなシチュエーションに対し、講義で学ぶ。		
11	イレギュラー対応2		ロールプレイングで実践。		
12	クレーム対応1		クレーム対応に関して講義で学ぶ。		
13	クレーム対応2		クレーム集配布。各クレームへの対応方法講義。		
14	クレーム対応3		ロールプレイングで実践。		
15	買い物価値観について		男女別買い物価値観 男性の場合の価値観について		
16	買い物価値観について		男女別買い物価値観 女性の場合の価値観について		
17	買い物価値観 男女別ロープレ実施		男女別価値観について講義で学んだことをロールプレイングで実践。男性の場合実践。		
18	買い物価値観 男女別ロープレ実施		男女別価値観について講義で学んだことをロールプレイングで実践。女性の場合実践。		
19	接客の流れ通りにロールプレイング実践1		今まで学んできた内容を基に一連の流れをロールプレイング実践。		
20	接客の流れ通りにロールプレイング実践2		今まで学んできた内容を基に一連の流れをロールプレイング実践。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数の増減(±5点)あり ロールプレイング大会の成績加点(+10点あり) 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			実践授業後はフィードバックを行う為、ノートを必ず用意する事。		
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネジメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約14年行う。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ロールプレイングII				
担当教員	藤王 祐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に学んだ基本的な接客技術に加え、コーディネート提案からクロージングまでの手法や応用など様々なシチュエーションに対応できる能力を身に付けます。				
学習目標 (到達目標)	しっかりと接客ができる。コーディネートの提案ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	EQリーダーシップについて1		EQ(心の知能指数)の視点でリーダーシップを講義で学ぶ。		
2	EQリーダーシップについて2		実在するリーダーを調べ、EQの視点でリーダーシップスタイルを分析。プレゼンテーション。		
3	サンクスレターについて1		サンクスレターの書き方を学び実践。		
4	サンクスレターについて2		ココロに残るサンクスレターを書くための書き方を研究する		
5	聞き出しトレーニング1		ヒアリングの重要性の講義、その後ロールプレイング		
6	聞き出しトレーニング2		ヒアリングに特化したロールプレイング。		
7	接客心理学1		接客におけるお客様の心理について講義		
8	接客心理学2		ロールプレイングを通してお客様を知るトレーニング実施		
9	接客の流れについて		接客の一通りの流れを講義、実践。		
10	今までのまとめ		ロールプレイングI、IIで学んだことを踏まえてロールプレイング実施。		
11	お礼状、おわび状1		お礼状、おわび状について 講義		
12	お礼状、おわび状2		お礼状、おわび状 実践		
13	コーディネート+1 1		コーディネート提案にもう1点プラスする接客練習		
14	コーディネート+1 2		コーディネート提案にもう1点プラスする接客練習		
15	ロープレ大会に向けて1		ロールプレイング大会に向けた練習。		
16	ロープレ大会に向けて2		ロールプレイング大会に向けた練習。		
17	ロープレ大会に向けて3		ロールプレイング大会に向けた練習。		
18	ロープレ大会に向けて4		ロールプレイング大会に向けた練習。		
19	ロープレ大会に向けて5		ロールプレイング大会に向けた練習。		
20	ロープレ大会に向けて6		ロールプレイング大会に向けた練習。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数の増減(±5点)あり ロールプレイング大会の成績加点(+10点あり) 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			実践授業後はフィードバックを行う為、ノートを必ず用意する事。		
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネジメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約14年行う。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	店舗運営				
担当教員	松田 大/久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1FのSHOPを使用し、現場での仕事の内容をフィードバックしながら授業を行う。 買い付け→販売→運営の流れを学ぶ授業。VMD IIとも並行して行うが、その中でSNSやDMなどでの集客方法、販促（プロモーション）方法、買付の仕組みなどを総合的に学ぶ。 クラスで店長、副店長、VMD、SNS、仕入れの役職、組織を作り実践的に学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	コンセプトショップの提案。実店舗の今のあり方や新潟のニーズ、ライフスタイルへの影響などを含め今の現場感を学ぶ。ブランドプロモーションの仕組みなどを実際に学んで行く。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業ルール、導入		授業のルール配布。		
2	ショップ構想、役割決め		ショップ案、役割決め実施		
3	店舗内のアイテム季節進行をして商品入れ替え実施。		アイテムの季節進行で商品入れ替え実施。		
4	5S、クレンリネスについて		5S、クレンリネスの大切さについてのプリント配布、講義。		
5	5S、クレンリネス 実施		倉庫、店舗の整理整頓、清掃実施		
6	各部門での施策内容実施。		各部門（VMD,SNS,仕入れ）で実施したい内容を各部門で挙げて内容を実施。企業へビジュアルマップ送付。		
7	計数管理		店舗運営に関わる計数管理 講義、テスト		
8	リテール分析		小売業の分析、細分化について 講義		
9	アイテムコンセプトワーク、商品選別 1		アイテムコンセプトについて、売れ筋、見切り品について講義。販売商品の選別。		
10	商品選別 2		販売商品の選別。		
11	ファッションショーで使用したアイテムを1F SHOPへ店出し		ショーでのアイテムをSHOPにて販売準備を実施。		
12	SHOP リニューアルに向けた準備 店長、副店長MTG実施		店長、副店長ミーティングを実施してSHOPの現状と改善事項を挙げてリニューアルに向けて準備する。		
13	品番、価格設定について		品番設定、価格設定について講義、タグ付け実施		
14	タグ付け		タグ付け実施。		
15	季節商品入れ替え実施		SHOP内の季節商品入れ替え実施。		
16	各部門で施策内容の見直し、改善事項吸い上げ		各部門での見直し、各部門ごとでミーティング実施して改善事項を挙げる。		
17	施策内容改善事項実施		改善事項を実施する。		
18	ショップレイアウト変更		ショップ内レイアウト変更		
19	売れるSHOPとは？ 講義		売れるSHOPについてのプリント配布、講義。		
20	売れるSHOPとは？ ディスカッション		売れるSHOPについてのディスカッション実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
点数基準 授業意欲=100 主に授業態度の評価になるが、企画書、SHOPシフトの出勤状況によって減点もあり。 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			ファイルは必要ないが、ノートを用意すること。		
実務経験教員の経歴	教員歴22年/家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	店舗運営				
担当教員	松田 大/久島 実里	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1FのSHOPを使用し、現場での仕事の内容をフィードバックしながら授業を行う。 買い付け→販売→運営の流れを学ぶ授業。VMD IIとも並行して行うが、その中でSNSやDMなどでの集客方法、販促（プロモーション）方法、買付の仕組みなどを総合的に学ぶ。 クラスで店長、副店長、VMD、SNS、仕入れの役職、組織を作り実践的に学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	コンセプトショップの提案。実店舗の今のあり方や新潟のニーズ、ライフスタイルへの影響などを含め今の現場感を学ぶ。ブランドプロモーションの仕組みなどを実際に学んで行く。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	売れるSHOPとは まとめ		ディスカッション内容のまとめ		
2	VMDの重要性について		SHOPにおけるVMDの重要性について講義		
3	ブランドマーケティング		ブランド市場の細分化について講義		
4	ブランド比較1		ブランドのポジショニングから競合他社の割出について		
5	ブランド比較2		アプローチ後のレスポンス率の計算やその後の行動内容について講義。		
6	卒業課題 企画書立案		企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。		
7	卒業課題 企画書作成1		企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て		
8	卒業課題 企画書作成2		企画書作成 演出、音楽の企画立案		
9	卒業課題 企画書中間チェック		企画書の中間チェック実施。		
10	卒業課題 企画書プレゼン		企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝える）		
11	卒業課題 企画採用者決定		採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画者に仕切らせ制作開始。		
12	卒業課題 採用企画のコーディネート策定1		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
13	卒業課題 採用企画のコーディネート策定2		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
14	卒業課題 採用企画のコーディネート策定3		コーディネート案完成 モデル案策定		
15	卒業課題 必要なアイテム候補出し		足りないアイテムの候補出し		
16	卒業課題 必要なアイテムなど買い出し		足りないアイテムの候補出し、買い出し実施		
17	卒業課題 コーディネートチェック		コーディネートチェック実施		
18	卒業課題 フィッティング実施		フィッティング実施		
19	卒業課題 演出関連作成		演出関連（音楽、映像など）作成		
20	卒業課題 演出関連リハ		演出関連リハーサル実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
点数基準 授業意欲=100 主に授業態度の評価になるが、企画書、SHOPシフトの出勤状況によって減点もあり。 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			ファイルは必要ないが、ノートを用意すること。		
実務経験教員の経歴	教員歴22年/家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 プライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科 (ブランドプロデュースコース)、 ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	紹介① 友達などの紹介のしかた		プリント1		
2	紹介② 性格と主張		プリント2		
3	紹介		ワークシート1 (紹介)		
4	単数、複数		プリント3		
5	単数、複数		ワークシート2 (単数)、会話		
6	単数、複数		ワークシート2 (複数)、会話		
7	衣服① 名称、色		プリント4		
8	衣服① 名称、色		ワークシート3 (衣服の名称)		
9	衣服① 名称、色		ワークシート4 (衣服の名称)		
10	衣服② 動詞、形容詞		プリント5		
11	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート5 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
12	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート6 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
13	衣服③ 形容詞		プリント6、会話		
14	衣服③ 形容詞		プリント7		
15	衣服③ 形容詞		プリント8		
16	衣服③ 形容詞		文章作成		
17	衣服③ 形容詞		復習、会話		
18	復習		ワークシート7		
19	復習		ワークシート8		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 プライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科 (ブランドプロデュースコース)、 ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前置詞		プリント9、リスニング		
2	前置詞		プリント9、会話		
3	前置詞		ワークシート9 (文章作成)		
4	前置詞		ワークシート10		
5	前置詞		ワークシート11 (文章作成)		
6	服のお直しのための英語		プリント10、会話		
7	服のお直しのための英語		ワークシート12		
8	服のお直しのための英語		ワークシート12 (文章作成)		
9	服を販売するときの英語		ワークシート13 (会話)		
10	服を販売するときの英語		プリント11		
11	服を販売するときの英語		ワークシート13 (文章作成)		
12	裁縫道具等の英語		プリント12		
13	裁縫道具等の英語		プリント12 (会話)		
14	裁縫道具等の英語		ワークシート14 (文章作成)		
15	復習		ワークシート15		
16	復習		ワークシート16		
17	総復習		ワークシート1~8		
18	総復習		ワークシート9~16		
19	まとめ		後期まとめ		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	就職実務 II				
担当教員	松田 大	実務授業の有無	×		
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	自己PR文章作成 1	エントリーシート・履歴書用自己PRの作成			
2	自己PR文章作成 2	エントリーシート・履歴書用自己PRの作成			
3	自己PR文章作成 3	エントリーシート・履歴書用自己PRの作成			
4	G D対策 1	G D対策授業面接練習			
5	G D対策 2	G D対策授業面接練習			
6	G D対策 3	G D対策授業面接練習			
7	グループ面接対策 1	グループ面接実践			
8	グループ面接対策 2	グループ面接実践			
9	グループ面接対策 3	グループ面接実践			
10	グループ面接対策 4	グループ面接実践			
11	メールのマナー・添え状・お礼状など	メールでの文章作成の基本。添え状テンプレ作成			
12	企業リスタップ 1	企業研究を深め企業を絞り込む			
13	企業リスタップ 2	企業研究を深め企業を絞り込む			
14	適性検査の基本	適性検査について評価のポイント			
15	S PA対策	SPA試験対策指導			
16	社会人マナー検定対策 1	社会人常識マナー検定対策授業			
17	社会人マナー検定対策 2	社会人常識マナー検定対策授業			
18	社会人マナー検定対策 3	社会人常識マナー検定対策授業			
19	社会人マナー検定対策 4	社会人常識マナー検定対策授業			
20	社会人マナー検定対策 5	社会人常識マナー検定対策授業			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		特になし			
実務経験教員の経歴	教員歴 22年				

科目名	就職実務 II				
担当教員	松田 大	実務授業の有無	×		
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	教員歴22年				

科目名	パーソナルカラーモジュールII				
担当教員	河田 愛	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科 (ブライダルコース)、 ファッションビジネス科 (ファッション販売・WEBコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.メンズのパーソナルカラーやパーソナルカラーの応用を学ぶ。 2.実際にパーソナルカラーの問題を解き学習していく。 3.課題を通しパーソナルカラーをファッション・メイク・インテリアに活かす訓練をする。				
学習目標 (到達目標)	1.パーソナルカラーをメイクに活かす 2.様々な配色法や色のしぐみを覚える				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	役に立つパーソナルカラー 配色ワークブック 配色カード PCCS配色カード はさみ のり ドレーブ メイク道具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	似た色と似合う色、イエローベースとブルーベースの見極め	指定教科書P18～19、ワークブックP4			
2	明度、彩度、清濁の見極め	ワークブックP5～7			
3	明度、彩度、清濁の見極め	ワークブックP5～7			
4	配色（明度と彩度）、配色法のバリエーション	指定教科書P58～59、ワークブックP8～12			
5	配色法のバリエーション	指定教科書P59～61、ワークブックP12～13			
6	固有感情と表現感情、	指定教科書P58～61、ワークブックP14～17			
7	固有感情と表現感情、パーソナルカラーの分析について	指定教科書P20～37			
8	パーソナルカラー分析診断	ドレーブを使い実習			
9	パーソナルカラー分析診断	ドレーブを使い実習			
10	パーソナルカラー分析診断	ドレーブを使い実習			
11	パーソナルカラー分析診断	ドレーブを使い実習			
12	パーソナルカラー活用テク	指定教科書P64～76			
13	魅力を引き出すメイク提案	ワークシート作成			
14	魅力を引き出すメイク提案	セルフメイクで実習			
15	魅力を引き出すメイク提案	セルフメイクで実習			
16	魅力を引き出すメイク提案	セルフメイクで実習			
17	魅力を引き出すメイク提案	セルフメイクで実習			
18	マンセル表色系、色名	指定教科書P44～51、ワークブックP19～21			
19	色彩調和論	指定教科書P52～55			
20	色彩調和論、前期まとめ	指定教科書P56～57			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
ワークブック50%、メイク課題30%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ワークブックは時間内に終わらせるように努力すること。わからない所は積極的に質問して欲しい。メイク課題についてはメイクのテクニックより、理解し上手く活用できているかが重要。必ず提出すること。			
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	パーソナルカラーモジュールII				
担当教員	河田 愛	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科 (ブライダルコース)、 ファッションビジネス科 (ファッション販売・WEBコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.メンズのパーソナルカラーやパーソナルカラーの応用を学ぶ。 2.実際にパーソナルカラーの問題を解き学習していく。 3.課題を通しパーソナルカラーをファッション・メイク・インテリアに活かす訓練をする。				
学習目標 (到達目標)	1.パーソナルカラーの知識を身につける 2.パーソナルカラーを日常や仕事に活かすスキルを身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	役に立つパーソナルカラー 配色ワークブック 過去問題集 配色カード PCCS配色カード はさみのり ドレープ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期復習問題		ワークブックP23～32の中から出題		
2	メンズカラーコーディネート		指定教科書P64～76		
3	様々な分野のパーソナルカラー		指定教科書P90～95		
4	4シーズン別コーディネート課題 春 秋		ワークシート作成		
5	4シーズン別コーディネート課題 夏 冬		ワークシート作成		
6	パーソナルカラー問題 基本編		ワークシートP23～32		
7	パーソナルカラー問題 応用編		ワークシートP23～32		
8	パーソナルカラー検定対策学習		指定教科書P104～117、配布資料にて説明		
9	パーソナルカラー検定対策 過去問題		過去問題集、解説		
10	パーソナルカラー検定対策 模擬テスト		テスト50分間、採点と解説		
11	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 春		ワークシート作成		
12	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 春		ワークシート作成		
13	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 夏		ワークシート作成		
14	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 夏		ワークシート作成		
15	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 秋		ワークシート作成		
16	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 秋		ワークシート作成		
17	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 冬		ワークシート作成		
18	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 冬		ワークシート作成		
19	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー 発表		一名ずつ発表		
20	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー 発表		一名ずつ発表		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
模擬テスト30%、ブライダル課題30%、コーデ課題20%、ワークブック 15%、学習意欲5% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)と する。		模擬テストと課題の出来が評価に大きく関わる。課題は全て提出 すること。検定を受けない場合でも対策授業を欠席しないこと。			
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	卒業制作				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	卒業制作へ移行し、作品制作をメインに実行。 プランニングからディスプレイ企画、アイテム選別まで各個人で実施。 2年間で学んだコーディネート、VMD、店舗運営などの知識を活かし、心に、視覚に訴える課題を制作。 卒業課題となり最終ショー形式にて発表。				
学習目標 (到達目標)	企画書の作成、プレゼン実施、VMD企画、演出のすべてを実践し理解をする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	卒業制作について 課題趣旨説明		卒業制作の内容、趣旨説明		
2	卒業制作 企画書立案		企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。		
3	卒業制作 企画書作成1		企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て		
4	卒業制作 企画書作成2		企画書作成 演出、音楽の企画立案		
5	卒業制作 企画書中間チェック		企画書の中間チェック実施。		
6	卒業制作 企画書プレゼン		企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝える）		
7	卒業制作 企画採用者決定		採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画者に仕切らせ制作開始。		
8	卒業制作 採用企画のコーディネート策定1		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
9	卒業制作 採用企画のコーディネート策定2		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
10	卒業制作 採用企画のコーディネート策定3		コーディネート案完成 モデル案策定		
11	卒業制作 必要なアイテム候補出し		足りないアイテムの候補出し		
12	卒業制作 必要なアイテムなど買い出し		足りないアイテムの候補出し、買い出し実施		
13	卒業制作 コーディネートチェック		コーディネートチェック実施		
14	卒業制作 フィッティング実施		フィッティング実施		
15	卒業制作 演出関連作成		演出関連（音楽、映像など）作成		
16	卒業制作 演出関連リハ		演出関連リハーサル実施。		
17	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング1		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
18	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング2		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
19	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング3		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
20	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング4		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
(1) 出席率が80%以上である事。 (2) 最終提出期限が守られている事。 (3) 課題内容の条件を満たしている事。 (4) 総合評価60点以上であること ①企画書40% ②コーディネート30%で評価 ③VMD20%+授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			提出物 (1) プレゼンテーション企画書 (2) 作品 コーディネート作品1人1コーディネート 各科目ごとに複数の教務にて評価を行う。		
実務経験教員の経歴	教員歴22年				

科目名	卒業制作				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	<p>卒業制作へ移行し、作品制作をメインに実行。 プランニングからディスプレイ企画、アイテム選別まで各個人で実施。 2年間で学んだコーディネート、VMD、店舗運営などの知識を活かし、心に、視覚に訴える課題を制作。 卒業課題となり最終ショー形式にて発表。</p>				
学習目標 (到達目標)	企画書の作成、プレゼン実施、VMD企画、演出のすべてを実践し理解をする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	卒業制作について 課題趣旨説明		卒業制作の内容、趣旨説明		
2	卒業制作 企画書立案		企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。		
3	卒業制作 企画書作成1		企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て		
4	卒業制作 企画書作成2		企画書作成 演出、音楽の企画立案		
5	卒業制作 企画書中間チェック		企画書の中間チェック実施。		
6	卒業制作 企画書プレゼン		企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝える）		
7	卒業制作 企画採用者決定		採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画者に仕切らせ制作開始。		
8	卒業制作 採用企画のコーディネート策定1		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
9	卒業制作 採用企画のコーディネート策定2		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
10	卒業制作 採用企画のコーディネート策定3		コーディネート案完成 モデル案策定		
11	卒業制作 必要なアイテム候補出し		足りないアイテムの候補出し		
12	卒業制作 必要なアイテムなど買い出し		足りないアイテムの候補出し、買い出し実施		
13	卒業制作 コーディネートチェック		コーディネートチェック実施		
14	卒業制作 フィッティング実施		フィッティング実施		
15	卒業制作 演出関連作成		演出関連（音楽、映像など）作成		
16	卒業制作 演出関連リハ		演出関連リハーサル実施。		
17	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング1		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
18	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング2		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
19	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング3		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
20	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング4		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
(1) 出席率が80%以上である事。 (2) 最終提出期限が守られている事。 (3) 課題内容の条件を満たしている事。 (4) 総合評価60点以上であること ①企画書40% ②コーディネート30%で評価 ③VMD20%+授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			提出物 (1) プレゼンテーション企画書 (2) 作品 コーディネート作品1人1コーディネート 各科目ごとに複数の教務にて評価を行う。		
実務経験教員の経歴		教員歴22年			